



今年4月16日から4月24日にかけて実施された小学生すくすくウォッチについて、豊中市の児童のみなさんの調査結果の概要がまとめましたので、お知らせいたします。

●目的

子どもたち一人ひとりが自らの強み等を知り、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これから社会を生き抜く力を着実につける。

●対象学年・参加児童数

第5学年：豊中市 3,625人 大阪府 65,527人

第6学年：豊中市 3,569人 大阪府 65,229人

●実施内容

第5学年：国語・算数・理科・わくわく問題（教科横断型問題）・アンケート

第6学年：わくわく問題（教科横断型問題）・アンケート

●各教科・わくわく問題（教科横断型問題）の出題内容及びアンケート内容について

国語：言語能力・読解力の基礎となる、基礎的基本的な言葉等の理解を問う問題

文章に書かれている意味を正確に捉える力（リーディングスキル）をはかる問題

算数：関数・数と計算・図形に関する基礎的な知識技能、数学的な表現や意味理解、日常の事象を数学的に処理する技能を問う問題

理科：理科の見方・考え方を動かせ、見通しをもって観察、実験を行うことや、その結果を数学的に表したり、分析したことを記述したりする問題

わくわく問題（教科横断型問題）

教科の枠を超えた日常の活動や現代的な諸課題（SDGs、プログラミング的思考）等をテーマにした問題

文章やグラフ、リーフレット等の様々な資料を題材としている。

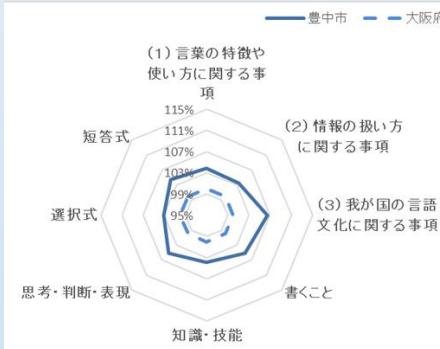
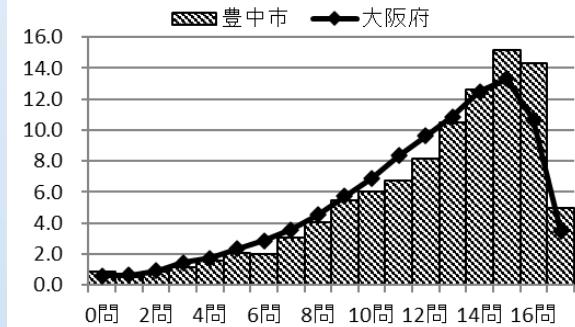
問題をつかみ、資料を読み取ったり思考したりして、自分の考えを表現する力を問う問題

アンケート

非認知能力である「未来に向かう力」と「好奇心」の一人ひとりの状況がわかる様々な問い合わせ方に基づく項目等



※横軸は児童の正答数、
縦軸は児童の割合を
示しています。



分類	区分	平均正答率 (%)	
		大阪府	豊中市
学習指導要領の領域等	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	72.4	75.2
	(2) 情報の扱い方に関する事項	68.9	71.4
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	21.9	23.3
評価の観点	書くこと	69.1	72.7
	知識・技能	69.2	71.9
	思考・判断・表現	69.1	72.7
問題形式	選択式	65.9	67.9
	短答式	72.2	75.5

- 文を正しく理解し、指示語の指示内容をとらえる問題（問7）や文中の助詞を正しく使う問題（問2）等については、概ね良好です。
- 文の中における修飾語と被修飾語の関係を捉えて、文の内容を正しく理解する問題（問12（1））については、課題が見られます。
- 日常で使うローマ字を正しく書く問題（問4）についても、課題が見られます。

※準正答を含めた平均正答率
を正答率と表記しています。

課題があった問題12（1）

■文の中における修飾語と被修飾語の関係を捉えて、文の内容を正しく理解する問題

正答	解答類型	大阪府	豊中市
①	1 1 と解答しているもの	5.8%	4.4%
◎	2 2 と解答しているもの	76.9%	75.9%
	3 3 と解答しているもの	2.8%	2.1%
	4 4 と解答しているもの	2.5%	1.4%
	9 上記以外の解答	0.1%	0.0%
0	無解答	11.9%	16.2%

これから学習においては、音読しながら言葉と言葉のつながりを意識したり、修飾語と被修飾語の関係をあまり意識していないことが見つけるなどして学んでいくことが大切です。

△ 解説 △

修飾語・被修飾語など言葉の意味の理解が不足していたり、言葉のつながりや修飾語と被修飾語の関係をあまり意識していないことが考えられます。

4 3 2 1
水筒 リュック シート 空
クサック

(正 答) 2

問1 次の(1)と(2)の文や文章を読んで、それぞれあとの問い合わせに答えましょう。
部の言葉が説明している言葉は何ですか。次の1から4までのなかから一つ選びましょう。
晴れた空の下、青い大きなシートに座り、リュックサックから出した水筒のお茶を飲んだ。

課題があった問題4

■日常で使うローマ字を正しく書く問題

正答	解答類型	大阪府	豊中市
◎	1 「Oita」、「Oita」または「Ooita」と解答しているもの ※すべて大文字で書いているものを含む【正答】	29.9%	28.8%
○	2 「おおいた」と読めるが、大文字と小文字の使い分けが不適切なもの【準正答】	46.1%	49.8%
	9 上記以外の解答	16.9%	14.6%
0	無解答	7.1%	6.8%

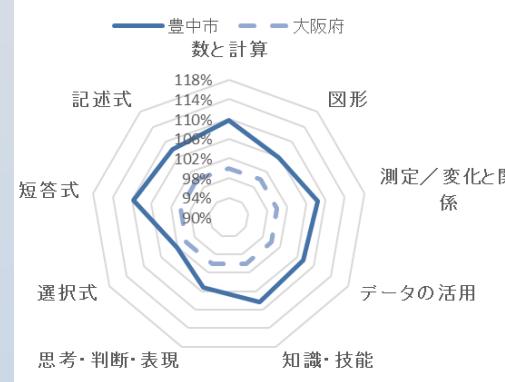
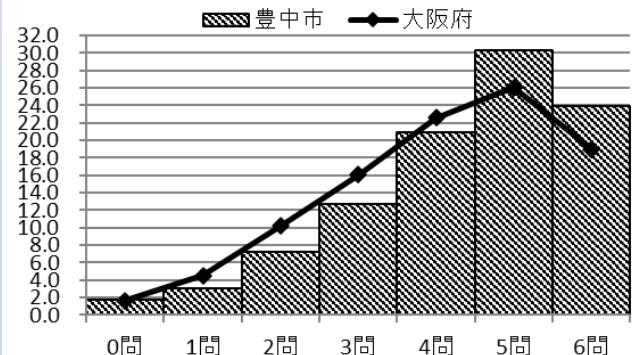
△ 解説 △

文の書き始めや固有名詞の頭を大文字で書くことに慣れていかない可能性があります。これから学習においては、文の書き始めや固有名詞の大文字と小文字の使い分けを意識することが大切です。また、これを活用してタイピングの練習をするとも、ローマ字を使い慣れることがあります。

(正 答)
「Oita」、「Oita」または「Ooita」

次の都道府県名を正しくローマ字で書きましょう。

※横軸は児童の正答数、
縦軸は児童の割合を示しています。



分類	区分	平均正答率 (%)
学習指導要領の領域	大阪府	72.1
	豊中市	79.1
評価の観点	大阪府	75.6
	豊中市	80.0
問題形式	大阪府	54.8
	豊中市	59.4

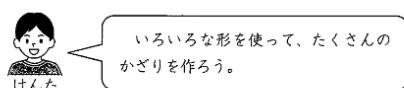
●二つの折れ線グラフから、家で飼われている犬とネコの数の差が最も大きい年と、その差を求める問題（問2（2））については、概ね良好です。

●図形を構成する要素の位置関係に着目して、2種類の三角定規を組み合わせてつくることができる図形を考える問題（問1（3））については、課題が見られます。

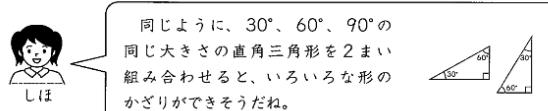
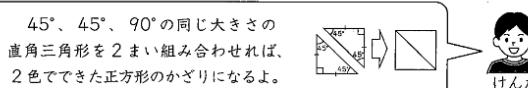
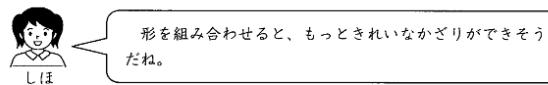
課題があった問題1（3）

■図形を構成する要素の位置関係に着目して、2種類の三角定規を組み合わせてつくることができる図形を考える問題

① 学校のおたのしみ会に向けて、けんたさんたちの学年は、校内の看板に使うかぎりを作ることになりました。けんたさんたちは、どんなかぎりを作ればよいか、クラスで考えています。



(3) おたのしみ会の準備で、しほさんとけんたさんは、体育館の入口に置く看板の担当になりました。2人は看板のかぎりつけをしています。



問い合わせ 30°、60°、90°の同じ大きさの直角三角形を2まい組み合わせてできるのは、どんな形でしょうか。次の1から4までのなかからすべて選びましょう。

- 1 平行四辺形
- 2 正三角形
- 3 ひし形
- 4 長方形

（正 答）

1、2、4すべてを解答しているもの

正答	解答類型	大阪府	豊中市
◎	1 1、2、4と解答しているもの	3.6%	4.9%
○	2 1、2と解答しているもの	1.2%	0.8%
○	3 1、4と解答しているもの	10.9%	13.1%
○	4 2、4と解答しているもの	8.7%	12.4%
○	5 1、2、4のうち1つを解答しているもの	60.1%	54.1%
	6 3と解答しているもの	7.4%	5.6%
	9 上記以外の解答	6.3%	7.0%
	0 無解答	1.9%	2.1%

＜解説＞

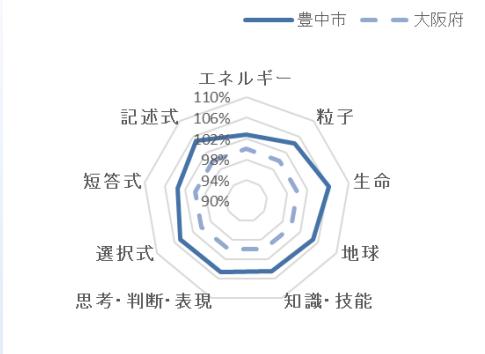
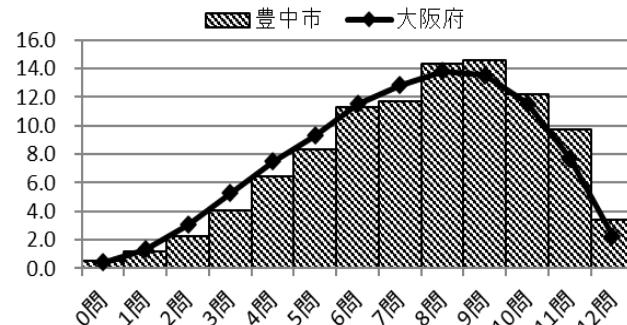
解答類型5の割合が多いことから、1つの図形しかイメージできていないことが考えられます。また、解答類型3の割合が、解答類型2、4の割合よりも多いことから、斜辺どうしを合わせたり、図形を回したりして、2つの三角形を組み合わせてできる図形を想像することができなかったため、正三角形を見つけることができなかったと考えられます。

图形の学習では、图形の構成要素に着目して图形を捉えたり、图形の合成や分解、変形など图形の構成についての見方を働きさせたりしながら説明することが大切です。また、実際に具体物を用いて图形の操作をしたり、ICTを使って图形の操作をしてみるとなるなどすると、图形のイメージがしやすくなります。

第5学年

理科

※横軸は児童の正答数、縦軸は児童の割合を示しています。



分類	区分	平均正答率 (%)	
		大阪府	豊中市
学習指導要領の領域	エネルギー	56.8	58.4
	粒子	70.1	73.2
	生命	69.2	73.5
評価の観点	地球	51.0	53.4
	知識・技能	62.1	64.8
問題形式	思考・判断・表現	57.6	60.3
	選択式	61.0	63.9
	短答式	65.1	67.4
	記述式	47.9	50.4

- 水が蒸発することについて理解する問題（問1（3））については、概ね良好です。
- 直列つなぎと並列つなぎについて理解する問題（問2（3）①）については、課題が見られます。

課題があった問題2（3）

■ 直列つなぎと並列つなぎについて理解する問題

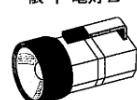
② あおいさんたちは、校外学習で防災センターに来て、火事などの災害から身を守る方法を学んでいます。

③ 次に、あおいさんたちは「防災グッズについて学ぼう」のコーナーに来ました。あおいさんは、そこで2種類の懐中電灯を見つけました。

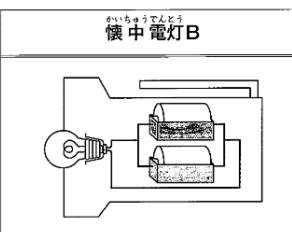
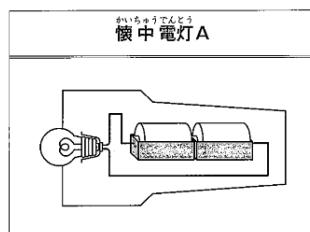
懐中電灯A



懐中電灯B



【懐中電灯のしくみの図】



※使っているかん電池と豆電球は同じものです。

この2種類の懐中電灯は、かん電池のつなぎ方がちがうみたいだね。

Aは [ア] つなぎ、Bは [イ] つなぎになっているんだね。



問い① [ア]、[イ] にあてはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

(正答)

ア 直列 イ へい列

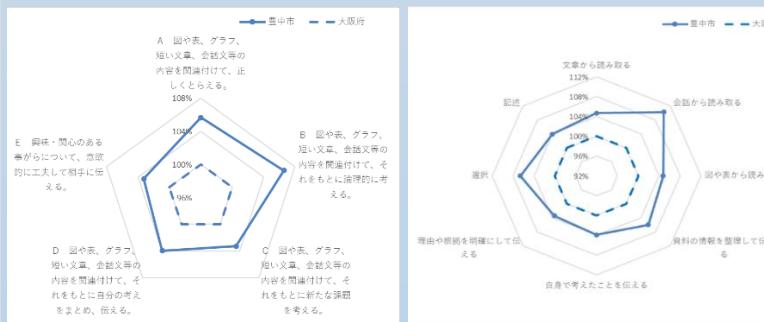
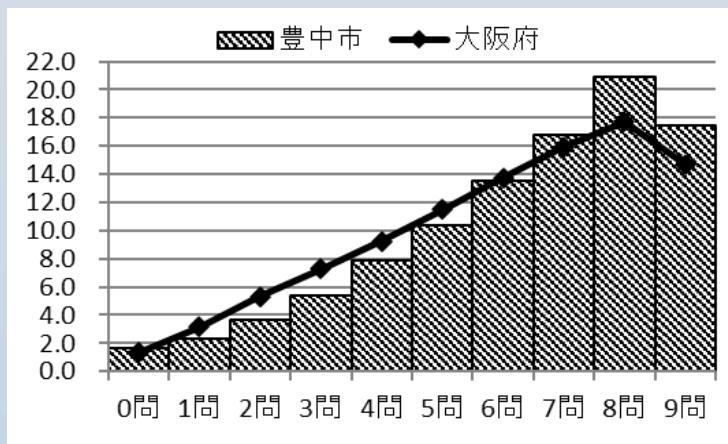
正答	解答類型		大阪府	豊中市
	ア	イ		
◎ 1 直列 と解答しているもの	ア	イ	31.2%	30.0%
○ 2 直列 と解答しているもの	ア	イ	21.5%	21.8%
○ 3 上記以外の解答または、無解答	ア	イ	1.0%	1.0%
9 上記以外の解答	ア	イ	34.2%	32.6%
0 無解答	ア	イ	12.1%	14.6%

〈解説〉

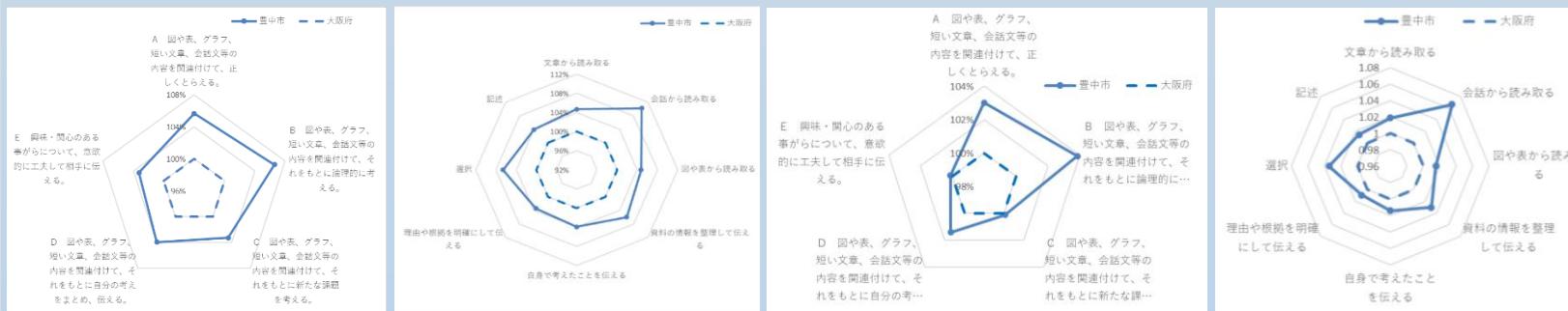
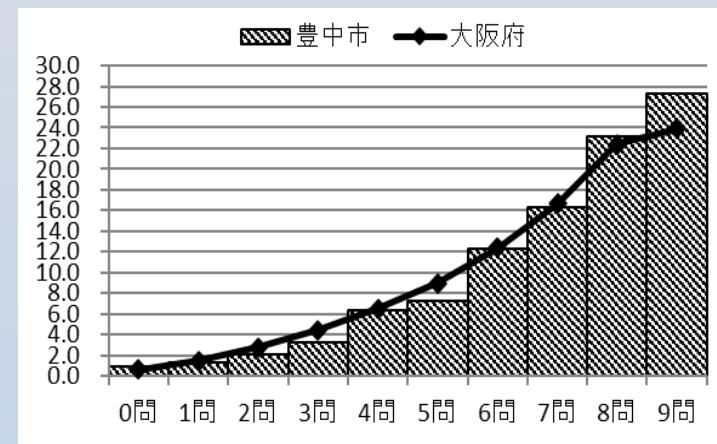
授業で学習した「直列つなぎ」と「へい列つなぎ」が、問題にあるような具体的な場面に結びついていないことが考えられます。また、無回答も多く、記述形式のため書くことをためらったことも考えられます。

学習指導要領では、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子について考えたことを、「電流」「直列つなぎ」「並列つなぎ」という言葉を使用して説明する活動の充実を図ることが示されています。そのような活動をとおして、理科で学習したことがらと普段の生活のことがらが結びつくようにすることが大切です。

第5学年 わくわく問題



第6学年 わくわく問題



分類	区分	平均正答率 (%)			
		第5学年	第6学年	大阪府	豊中市
問題をとらえる	A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	70.4%	74.4%	78.3%	80.7%
	B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	66.6%	71.0%	74.0%	76.9%
	C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	57.1%	59.0%	66.7%	66.7%
	D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	67.7%	70.4%	77.0%	78.1%
	E 興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	57.1%	59.0%	66.7%	66.7%
伝える	文章から読み取る	69.1%	72.3%	78.1%	79.6%
	会話から読み取る	57.4%	63.3%	64.6%	68.8%
	図や表から読み取る	69.3%	72.6%	78.2%	79.5%
	資料の情報を整理して伝える	67.7%	71.7%	76.2%	78.5%
問題形式	自身で考えたことを伝える	67.7%	70.4%	77.0%	78.1%
	理由や根拠を明確にして伝える	69.8%	72.2%	78.1%	78.9%
	選択	65.9%	70.3%	74.1%	76.7%
	図表	-	-	-	-
	記述	67.7%	70.4%	77.0%	78.1%

●わくわく問題は、第5学年と第6学年に同一問題で実施されました。

●第5学年は、地域で行われる防災訓練を題材とし、論理的に思考し問題を発見・解決していく力を問う問題のうち、表を使って分類し情報を整理する問題（問2（1））の正答率が概ね良好です。

●第6学年は、さまざまな社会的場面で活用されている「ナッジ」を題材として、会話の内容を適切に読み取る力などを問う問題（問3（1））において、正答率が概ね良好です。

●第5学年、第6学年ともに、複数の資料の内容を読み取り、資料から気づいたことと、より多くの人が防災訓練に参加するためにはどうすればよいかを考えて提案する問題（問2（3））については、課題が見られます。

●第5学年、第6学年ともにナッジの考え方を理解したうえで、既存のアイデアを参考にしながら、自分なりのアイデアを、言葉や絵を使って具体的に説明する問題（問3（3））において、課題が見られます。



課題があった問題2（3）

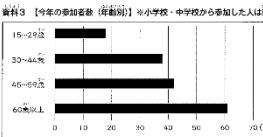
■複数の資料の内容を読み取り、資料から気づいたことと、より多くの人が防災訓練に参加するためにはどうすればよいかを考えて提案する問題

② 毎年、地域の人たちが中心となって行っている防災訓練に、今年ゆうさんたちの学校も参加します。ゆうさんたちのクラスは、「わたしたちの考える災害時の備え」について、発表や展示を行うことになりました。

③ 防災訓練日、ゆうさんたちの熱誠や活潑な発言で感動されました。
体調、ゆうさんたちは、防災訓練のうちから「本日の参加者数を減らす」「どうでもいいかでいい」と発言されました。
次の質問をお読みください。

資料2【今年のプログラム】

日時：2025年1月1日午前 9時～12時
チケット：あなたが支払った料金を返すよ～
会場：プログラム
1. 総合演習
～見てこれまで、体験しながら防災について学ぼう～
8:30～ 水害対策コーナー 流れ木の安全知識 設置 対策
9:00～
2. 小学校のみんなから～
～わたしたちの考える災害時の備え～
9:10～ おもてなしの心
9:20～ おもてなしの心
9:30～ おもてなしの心
10:00～ おもてなしの心
10:30～ おもてなしの心
11:00～ おもてなしの心
11:30～ おもてなしの心
12:00～ おもてなしの心



資料4【参加者のアンケート結果①】

～防災の一部～

初めてきました。ミラクルを見ないので、友人に説いてもらいました。
地域で防災訓練があるなんて全然知りませんでした。（15～29歳）

今年は防災訓練は、体験活動が多かったので、いつもより楽しみながら防災について学ぶことができました。でも、もう手が足りません。
内閣が去年から使うようになったのが気恥でした。（30～44歳）

小学校の皆さんも、危機意識を高めて勉強になりました。
今まで知らなかったことをわかつてもらかったです。（45～59歳）

教員に教えてもらったり、保護者のあなごとを時間をかけてじっくり見ることができてよかったです。（60歳以上）

資料5【参加者のアンケート結果②】

～あなたが支払った料金を返すよ～

○あなたが支払った料金を返すよ～

□あなたが支払った料金を返さない

△どちらでも可

◎あなたが支払った料金を返さない

▲あなたが支払った料金を返すよ～

◎防災用非常食の試食体験

○消防署員による安全知識講習会への参加

△ハイドロゲン燃焼マップ作り

○防災用ハサウエーブード

△防災用ハサウエーブード

○防災用ハサウエーブード

△防災用ハサウエーブード

○エコハイドロゲンランク

△エコハイドロゲンランク

○エコハイドロゲンランク

（正答の条件）

次の条件を全て満たして解答している。

- ① もとにする資料を1つ以上選んでいる
- ② 資料から「わかることや考えられること」を書いている
- ③ 「わかることや考えられること」をもとに、具体的な提案を書いている

（正答例）

【資料1】資料4

【わかることや考えられること】

防災学習ビデオの内容が去年と同じで、残念に思っている人がいた。来年も同じ内容だと来年は参加しないのではないか。

【提案】

来年は、防災学習ビデオの内容を今年と違うものにする。

＜解説＞

複数の資料を比較し、関連付けて考察することに慣れていないことや問題点を見つけて解決策を考えたり、理由を詳しく説明したりすることが苦手であることなどが考えられます。

普段からニュースや身近なできごとなどを話題にして、問い合わせ立てて考える習慣をつけたり、自分ならどうするかを考える機会を持ったりすることが大切です。

正答	解答類型	大阪府 5年	豊中市 5年	大阪府 6年	豊中市 6年
		◎	○	△	▲
①	条件①、②、③を満たして解答しているもの	56.1%	60.0%	69.8%	72.8%
○	条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	7.4%	6.8%	4.9%	3.7%
9	上記以外の解答	32.7%	28.6%	23.2%	20.7%
0	無解答	3.8%	4.6%	2.1%	2.7%

課題があった問題3（3）

■ナッジの考え方を理解したうえで、既存のアイデアを参考にしながら、自分なりのアイデアを、言葉や絵を使って具体的に説明する問題

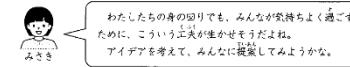
③ 学校が休みの日、みさきさんとあきどさんは、スーパーにお菓子を買いに行きました。

④ みさきさんたちは、ナックの考え方を基にした工夫が他の回りにもないか、探しることにしました。次の【身の回りの工夫】は、みさきさんたちが、見つけた工夫をスヌードのみんなに紹介するためにタブレットたん末を使ってまとめたものです。

【身の回りの工夫】

【ねがい】 トイレきれいに使ってほしい

【工夫】 次の二通りのメッセージをトイレの見やすいところにはる。



それは、いい考え方だね。うかがうらぎに歩いてもらう
くじや、リップバームをそろえてもらう工夫など、みんなに
提案できることはたくさんありますよね。

問い合わせ【ねがい】の皆さんに、みんなが気持ちよく過ごすために、みんなに
してほしいことを一つ書きました。
○【工夫】の皆さんに、【ねがい】をかなえるために、どうするのかを
書きや繪を使ってかきましょう。
○【みんなの行動が変わる理由】の皆さんに、なぜその【工夫】でみんな
の行動が変わるとか文で書きましょう。

（正答の条件）

次の条件を全て満たして解答している。

- ① 【ねがい】に、みんなにしてほしいことを1つ書いている
- ② 【工夫】に、その【ねがい】をかなえるためにどうするのかを書いている
- ③ 【みんなの行動が変わる理由】に、なぜその【工夫】でみんなの行動が変わるのが書いている

（正答例）

【願い】 教室やろうかのゴミを拾って捨ててほしい

【工夫】 ゴミ箱のふたの内側に、感謝のメッセージを書く。

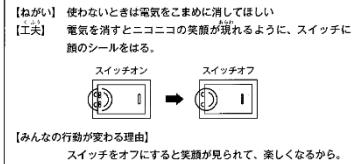
【みんなの行動が変わる理由】

ふたの内側のメッセージを見て、うれしくなって、またゴミ箱の中にゴミを捨てようと思うから。

＜解説＞

類型3から、【ねがい】は考えられたが、それに対する工夫と理由を整理して、使う人の立場を考えて提案することに慣れていないことが考えられます。

アイディアを提案する場面で、工夫と理由を分けて図や絵や言葉で整理したりいろいろな人の立場に立て考えたりすることが大切です。



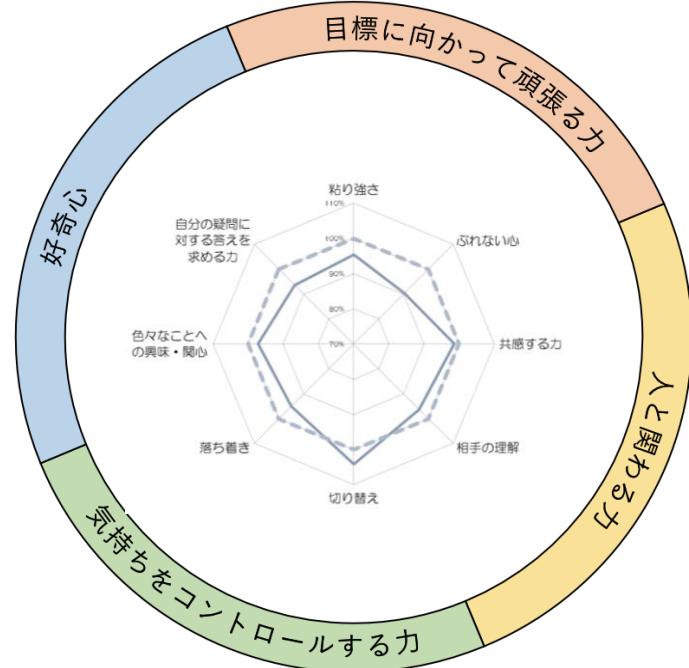
正答	解答類型	大阪府 5年	豊中市 5年	大阪府 6年	豊中市 6年
		◎	○	△	▲
1	条件①、②、③を満たして解答しているもの	47.7%	50.1%	59.1%	59.0%
2	条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	9.5%	8.9%	7.5%	7.8%
3	条件①を満たし、条件②、③を満たさないで解答しているもの	28.6%	25.4%	22.8%	22.0%
9	上記以外の解答	3.5%	3.1%	2.6%	2.5%
0	無解答	10.8%	12.5%	7.9%	8.8%

児童アンケート結果から

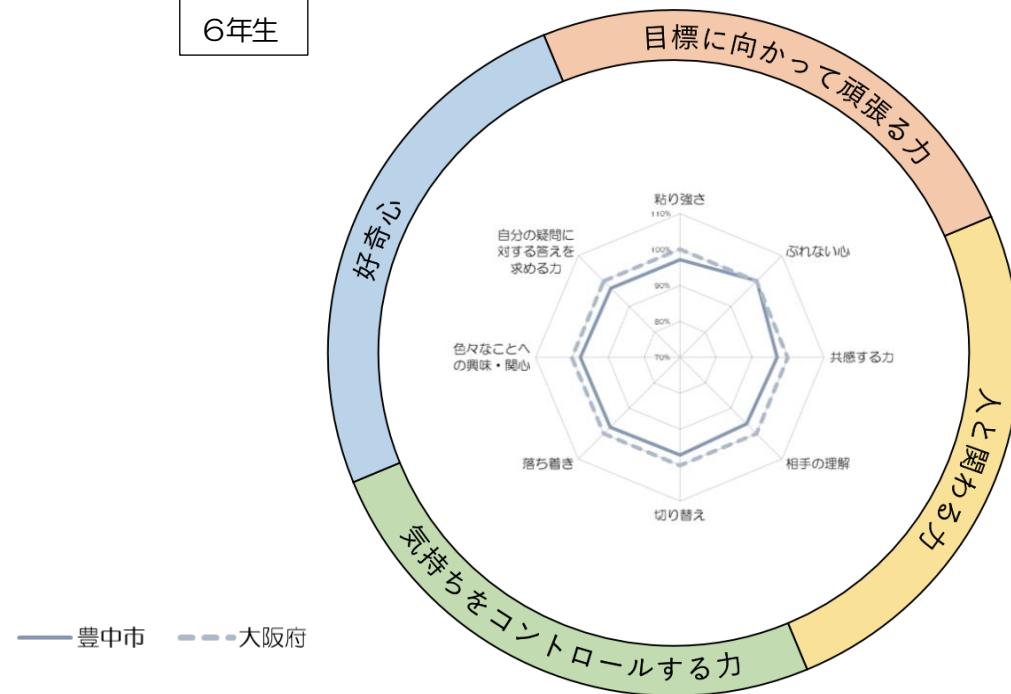
児童アンケート結果では、目標に向かって頑張る力・人と関わる力・気持ちをコントロールする力の「未来に向かう力」と「好奇心」の項目平均（当てはまる・どちらかといえば当てはまるの合計）から、豊中市の特徴をまとめています。



5年生



6年生



●第5学年は、気持ちをコントロールする力の「切り替え」が他の項目と比べて、大阪府より高い結果となっています。目標に向かって頑張る力の「ぶれない心」が他の項目と比べて、低い結果となっています。

●第6学年は、目標に向かって頑張る力の「ぶれない心」が他の項目と比べて、高い結果となっています。

※このテスト及びアンケート結果は、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

